



成文



尼崎市立成文小学校

学校・学年通信

8・9月号

ホームページアドレス <https://www.ama-net.ed.jp/school/E17/index.html>



昨日の自分より成長する2学期に

校長 岩崎 あやの

長かった夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な笑顔とにぎやかな声が戻ってきました。久しぶりに登校してきた子どもたちは、少したくましくなった表情を見せ、夏休みならではの貴重な経験を積んできたことが伝わってきます。家族との時間、地域での体験、読書や自由研究、習い事やスポーツなど、子どもたちは学校では得られない多くの学びを重ねたことでしょう。その一つ一つの経験が、子どもたちの成長の糧となっていることを大変うれしく感じています。

2学期がスタートするにあたり、子どもたちは生活や学習など、それぞれの目標を立てます。個人の目標、学年の目標、そして学校全体の目標は、よりよい自分へと成長するための道しるべです。しかし、目標を立てることが目的ではありません。大切なことは、目標を達成するためには、日々の行動を積み重ねることです。「今日は何を頑張ろうか」「昨日より少しよくするにはどうしたらよいか」「今日はここまでやってみよう」と考えながら、一歩ずつ前に進むことが、やがて大きな成長となり、自信へとつながっていきます。

「人と比べるのではなく、昨日の自分と比べなさい」という言葉があります。学校生活では、友だちと比べてしまうこともあるでしょう。しかし、本当に大切なのは、自分自身が少しずつ前に進んでいるかどうかです。昨日より字を丁寧に書けた、昨日より進んであいさつができた、昨日はできなかったことに今日は挑戦できた——そんな小さな積み重ねが、子どもたちの確かな力となっていきます。

さて、2学期は一年の中で最も長く、学習や学校行事が充実する学期です。自然学校や修学旅行、音楽会、学年ごとの活動など、友達と力を合わせて取り組む機会が数多くあります。行事では、成功という結果だけでなく、その過程にこそ大きな価値があります。友だちと意見を出し合い、ときには思うようにいかず悩みながらも、互いを認め合い、励まし合って一つの目標に向かって努力する経験は、子どもたちの心を大きく育てます。また、失敗を恐れず挑戦する勇気や、最後まであきらめずに取り組む粘り強さは、これからの時代を生きる子どもたちに欠かせない力です。大きな一歩でなくても構いません。一人一人が自分の歩幅で、昨日の自分より一歩前へ進んでいける2学期になることを期待しています。

夏休み明けは、生活のリズムが戻るまで疲れが出やすい時期でもあります。心と体の健康は、学びの土台です。「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とした規則正しい生活を心がけ、元気に学校生活を送ることができるよう、ご家庭でも引き続きお願いいたします。

今学期も、教職員一同、子どもたち一人一人の健やかな成長を支えるため、全力で教育活動に取り組んでまいります。保護者・地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

